

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の57%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり113kgの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.3トンの水揚げで前週の2.6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり273kgの水揚げ。北松生月地区では、サンマなどが1日1統当たり2.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり61kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり162kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり140kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイなどが1日当たり68kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/20～1/24）の沖合イカ釣は、船凍船が竹島周辺海区及び青森県沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺・新潟沖・山形沖・青森県沿岸にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 入港なし。

（漁業情報サービスセンターより）